

志を高く、謙虚に

☆『進路の手引』 ココを見るべし！

秩父高校進路指導部では、毎年6月の三者面談の時期に合わせて『進路の手引』を発行しています。入試に関する様々な情報、先輩達の進路結果や合格体験記が掲載されています。熟読して進路について理解を深め、卒業後の進路を考えるきっかけにしてほしいと思います。ここでは、『進路の手引』で見たいポイントをまとめます。

○「令和8年3月合格者一覧」(pp.6-7)

・今年の3月に卒業した先輩達の進路先を見てみよう。どんな大学・学部があるのか知らない人も多いと思います。先輩の進路を参考に、学校調べをしてみるのも良いかもしれません。

○「令和7年度大学・短期大学・看護専門学校 指定校推薦一覧」(pp.9-14)

・『進路の手引』には載せきれっていない指定校もあります。気になる学校がある人は進路室まで。
・『進路の手引』に掲載しているものは前年度のものです。成績基準や人数などについては、今年度変更になる可能性もあります。今年度の正確な情報は、2学期始業式の日に一覧表を発表します。

○「進学費用について」(pp.15-16)

- ・私立か国公立、文系か理系かによっても費用は大きく変わるのでよく確認しよう。
- ・学費以外にかかる費用についても確認しておこう。
- ・奨学金制度もあります (p.17)。日本学生支援機構・自治体・その他様々な奨学金があります。

○「入試の概要」(pp.20-33)

・入試には、主に「一般選抜」・「学校推薦型選抜（公募・指定校）」・「総合型選抜」があります。
・国公立大学の一般選抜は、「大学入学共通テスト」＋「個別試験（2次試験）」。
・私立大学の一般選抜は、文系では「国、英、地歴・公民・数学から1つ」、文系では「数、英、理」の3教科入試が主流です。
・英検などの外部検定試験を入試に活用するところが増えてきています。英検は積極的に受験することをお勧めします（進路だより第3号も参考にしてください）。

○「合格体験記」(pp.34-53)

進路実現には、特別な何かをするよりも、基礎の徹底や日々の積み重ねが何よりも重要になります。同様の内容を多くの先輩が体験記に書いていますが、ここでは二人の言葉の一部を紹介します。

最も重要なのは「基礎の徹底」です。英単語や古典単語を早期に完成させるのは当然ですが、それ以上に大切なのは「メンテナンス」です。知識は一度完璧にしたと思っても、放置すれば必ず忘れてしまいます。私自身、直前期に失点を重ねてしまったのは、皮肉にも初期に覚えたはずの基礎の部分でした。「もう大丈夫だ」という油断が、足元をすくう原因になります。毎日時間を計り、だらだらと流さず、緊張感を持って基礎を復習し続ける。この地味な作業を最後まで継続できた人だけが、合格できるのだと痛感しました。

日々の積み重ねも重要です。指定校推薦は試験の結果だけでなく、三年間の生活態度も重視されるため、授業に真剣に取り組むことを大切にしてきました。定期テスト前には計画を立てて学習を進め、苦手な分野も後回しにせず取り組みました。特に力を入れたのは英語の学習です。英語は短期間で伸ばすことが難しい科目なので、コツコツと積み重ねることを意識しながら単語や文法の学習を繰り返し、理解を深めていきました。英語力向上の一環として英検にも取り組みました。資格取得に向けて早い段階から準備を進めたことで、自分の努力が形として残る達成感を得ることもできました。

規則正しい生活

- ・よく眠り、よく食べ、よく運動する。
- ・挨拶をする。
- ・物事の期日を守る。

〈予習〉〈授業〉〈復習〉のサイクル

・勉強時間の確保 = 1日2時間